

会 議 結 果 概 要

会 議 の 名 称	令和8年度古河市総合計画審議会
開 催 日 時	令和8年8月21日（金） 午後1時30分～午後3時10分
開 催 場 所	古河市役所 総和庁舎2階 特別会議室
出 席 者	（委 員）大澤 義明（会長）、廣野 功太郎（副会長）、 秋山 和彦、岩崎 聖一、江原 優子、草間 清那、 栗島 結花、小林 登美子、澤部 一城、下村 宏幸、 須藤 徹、関口 吉男、竹村 拡子、初見 勝、吉羽 佑司 ※敬称略、役員以外の委員は五十音順。 （事 務 局）企画政策部：綾部部長 企画課：栄田課長、舘野課長補佐、川原係長、 山口係長、土田係長、土屋主幹
議 題	総合計画及び総合戦略に基づく実績及び今後の方向性について
審 議 の 内 容	1 副市長あいさつ 2 委嘱状交付 3 開 会 4 会長あいさつ 5 議 題 総合計画及び総合戦略に基づく実績及び今後の方向性について ①総合計画及び総合戦略の効果検証 事務局から、総合計画に基づく R7 年度及び R8 年度の主な取組、総合戦略に基づく地方創生交付金を活用する事業の状況、総合戦略で掲げている KPI の進捗状況を確認説明し、委員から意見を聴取した。 [主な意見] ・既存公共施設の活用等による外国人と日本人が日常的に交流できる多文化共生・国際交流の拠点を整備をすべき。 ・移動販売の巡回地域を拡大すべき。 ・ネーブルパーク内にあるバレルサウナについて、整備した施設の稼働率や収支等を事前に目標設定し、評価できるようにすべき。 ・季節イベントに加え、歴史資源等を活用し通年での観光客誘致を強化すべき。 ・災害情報の伝達手段について、高齢者等の観点から、受信者任せではなく行政から確実に届けるプッシュ型の仕組みを検討すべき。

	・ふるさと納税について、近隣自治体との比較も踏まえ、人気返礼品の分析や具体的な伸長策を進めるべき。 ②次年度の戦略方針策定に向けて 事務局から、総合戦略の位置づけを説明し、次年度の戦略方針における重点化施策を決定するための参考意見として、委員から専門的な視点や、日々の暮らしで感じる課題等の意見を全委員から聴取した。 [主な意見] ・地域活動への助成のあり方、リーダー育成やスキルアップ機会の確保、若者の居場所、特に三和地区での居場所について検討すべき。 ・人数合わせではなく、現場で活躍する女性人材を育成し参画につなげる視点を持つべき。 ・元気な高齢者を外へ連れ出し孤立を防ぐ仕組み、地域での見守りと健康維持につながる施策を検討すべき。 ・外国語教育の充実、学校再編の検討状況の途中経過を市民に共有する必要性あり。働き方改革が教育の質低下につながらないように整理すべき。 ・高齢化の進行を踏まえ、新規就農相談の窓口機能強化、兼業等の発信、農地の将来を見据えた対応を行うべき。 ・旧 3 市町区域の意識が残る中、合併 20 周年を契機に市全体が一体となるイベント等の検討をすべき。 ・駅西口、中心市街地のシャッター通り化や空き店舗問題の深刻化を踏まえ、有効な施策の検討、官民連携の推進をすべき。 ・価格転嫁・人手不足・後継者不足等への支援、創業・事業承継支援の重要性、金融機関連携を推進すべき。 ・物価高騰等を踏まえ、各施策推進の前提として財源確保を重点的に進めるべき。 ・子育て世代に古河市の魅力が伝わる発信の強化、若者や子育て世代の「やりたい」を行政が聞き取り、協力する仕組みをつくるべき。 6. 閉会
問 合 せ 先 (事 務 局)	古河市役所 企画政策部 企画課 電話 0280-92-3111 (内線: 2126)
備 考	